

1 概要

(1) 沿革

旧師団司令部跡時代 昭和 26 年 (1951) ~昭和 35 年 (1960)

- 昭和 26 年 3 月 ● 3 月 20 日、第 1 回定例市議会に議案として、博物館設置を提出。旧第六師団司令部跡に設置することについて可決(29 日)。
- 27 年 2 月 ● 市議会にて熊本博物館条例可決(2 日)。第 2 館(熊本城宇土櫓)開館(4 日)。
4 月 ● 文部省より博物館相当施設の指定を受ける(17 日)。
6 月 ● 熊本博物館第 1 館(旧第六師団司令部跡)開館(5 日)。第 1 館は自然科学・人文科学関係、第 2 館は人文科学の歴史資料を展示。
- 28 年 11 月 ● 熊本博物館条例制定(7 日)。
- 30 年 5 月 ● 山野草展始まる。
- 34 年 10 月 ● 星を見る会始まる(平成 5 年 7 月まで、通算 401 回で中止)。
- 35 年 9 月 ● 熊本城天守閣落成式。熊本博物館分館として発足(22 日)。
10 月 ● 天皇・皇后両陛下下行幸啓(22 日)。
11 月 ● 熊本博物館本館として、市勸業館(花畑町 7-17)の 2 階・3 階を使用することになり、移転準備及び移転作業(15~19 日)。
-

勸業館時代 昭和 36 年 (1961) ~昭和 53 年 (1978)

- 昭和 36 年 2 月 ● 熊本博物館本館(花畑町 7-17)再開館。本館は人文資料(2 階)、自然資料(3 階)を展示。分館は郷土資料(1・2 階)、考古資料(3 階)を展示(1 日)。
- 37 年 5 月 ● 皇太子殿下・皇太子妃殿下下行啓(12 日)。
- 40 年 8 月 ● 博物館夏季学校始まる。
- 41 年 6 月 ● 熊本博物館規則制定(11 日)。
- 44 年 7 月 ● SP レコードコンサート始まる(6 日)。博物館友の会発足(12 日)。
- 48 年 6 月 ● 立田山ヤエクチナシ(国指定天然記念物)調査で再発見(13 日)。
- 49 年 5 月 ● 蒸気機関車 9600 形、国鉄(現 JR)より譲渡(12 日)。
-

新館建設の経過 昭和 47 年 (1972) ~昭和 53 年 (1978)

- 昭和 47 年 7 月 ● 熊本博物館建設準備委員会、第 1 回開催(7 日)。以後、会議を重ねること 10 回。答申案を総括する。
- 48 年 7 月 ● 熊本博物館建設準備委員会より、熊本博物館建設に関する答申が市長へ提出される(31 日)。
- 49 年 4 月 ● 黒川紀章建設都市設計事務所に基本設計委託(9 日)。
7 月 ● 基本構想の決定(11 日)。
10 月 ● 基本設計の完了(1 日)。
-

-
- 51年 1月 ● 建築工事起工式(12日)。
 - 52年 6月 ● 建築工事完工(19日)。
 - 12月 ● プラネタリウム設置工事完工(20日)。
 - 53年 3月 ● 展示工事完工(20日)。落成式(31日)。
-

新館（現本館）時代 昭和 53 年（1978）～

- 昭和 53年 4月 ● 新館開館(1日)。入館者 10 万人を突破(7月 19日)。
 - 54年 11月 ● 国際児童年記念のタイムカプセル埋設式(20日)。
 - 56年 4月 ● 熊本市全域立体地形模型展示施設の取付け完了(2日)。
 - 11月 ● 熊本城城郭模型を制作し、新市庁舎 1 階ロビーに展示(3日)。
 - 57年 9月 ● 開館 30 周年記念式典並びに特別展「九州古代のまつり」開催(19日)。
 - 58年 7月 ● 特別展「未来の電話とロボット展」開催(7月 23日～8月 21日)。
 - 61年 3月 ● 特別展「宇宙の神秘展」開催(3月 1日～30日)。
 - 8月 ● 特別展「のりもの展」開催(8月 8日～11日)。
 - 63年 3月 ● 特別展「上南部のむら」開催(3月 19日～4月 3日)。
 - 4月 ● 新館開館 10 周年記念特別展「夢の乗り物博物館」開催(4月 15日～17日)。
 - 9月 ● 新館開館 10 周年記念特別展「近代熊本のあけぼの展」開催(9月 16日～10月 31日)。
 - 平成 元年 7月 ● 市制 100 周年記念特別展「こども科学展」開催(7月 25日～30日)。
 - 2年 9月 ● 特別展「錦絵にみる西南戦争展」・「身近な宇宙展」開催(9月 21日～10月 14日)。
 - 4年 3月 ● プラネタリウム最新鋭機種導入(ドーム 16m、217 席、自動演出装置)。
 - 4月 ● 特別展「宇宙科学展」開催(4月 26日～5月 10日)。
 - 5年 5月 ● 博物館周辺整備工事。
 - 10月 ● 特別展「肥後の船と人びとのくらし展」開催(10月 1日～24日)。
 - 6年 8月 ● 特別展「ふれあいロボット展」開催(8月 12日～21日)。
 - 7年 7月 ● 特別展「天才科学者レオナルド・ダ・ビンチ展」開催(7月 22日～8月 13日)。
 - 8年 3月 ● 収蔵品展「遺墨にみる西南戦争展」開催(3月 2日～17日)。
 - 7月 ● 特別展「化石にみる熊本のおいたち」開催(7月 23日～8月 11日)。
 - 8月 ● 特別展「蓄音機とレコードの 80 年の歩み」開催(8月 24日～9月 1日)。
 - 9年 10月 ● 特別展「明・清名宝と象牙展」開催(10月 11日～26日)。
 - 特別展「西南戦争と熊本」開催(10月 18日～11月 3日)。
 - 博物館改修工事設計委託完了(7月 25日～10月 31日)。
 - 10年 7月 ● 企画展「世界の蝶展」開催(7月 18日～8月 2日)。
 - 8月 ● 企画展「星座物語原画イラスト展」開催(8月 12日～16日)。
-

-
- 9月 ● 博物館改修工事起工(1日)。
- 11年 5月 ● 博物館改修工事完工(31日)。 ※1月～5月休館
- 10月 ● 特別展「加藤・細川両家と熊本城」開催(10月8日～11月3日)。
- 12年 10月 ● 特別展「古写真にみる熊本の明治時代」開催(10月21日～11月5日)。
- 13年 3月 ● 企画展「幻のニホンオオカミ復元」開催(3月16日～31日)。
- 7月 ● 特別展「野山で出会う花たち」開催(7月21日～8月19日)。
- 14年 7月 ● 特別展「熊本博物館 50周年記念収蔵資料公開展」(7月21日～8月18日、8月24日～9月22日)。
- 15年 9月 ● 特別展「まつりのかたち」開催(9月19日～10月19日)。
- 16年 7月 ● 特別展「毛利宇宙飛行士の部屋」開催(7月24日～8月22日)。
- 18年 2月 ● 特別展「刀剣—その美と肥後の歴史の関わり—」開催(2月18日～3月21日)。
- 7月 ● 特別展「身近な生きものとわたしたち」開催(7月22日～8月27日)。
- 19年 12月 ● 特別展「発掘された日本列島 2007—新発見考古速報展」開催(12月15日～H20.1月20日)。
- 熊本城築城 400年祭特別展示「発掘された本丸御殿」開催(12月6日～H20.1月27日)。
- 20年 7月 ● 特別展「サメ・海のハンター展」開催(7月19日～8月31日)。
- 9月 ● 企画展「昭和の思い出(メモリーズ)展」開催(9月13日～10月13日)。
- 12月 ● 共催展「ドッキ土器大集合展」開催(12月16日～H21.1月18日)。
- 21年 6月 ● 巡回展「台風がやってきた」開催(6月20日～7月20日)。
- 8月 ● 特別展「金峰山のいきものがたりといしものがたり」開催(8月1日～30日)。
- 9月 ● 企画展「横井小楠とその時代」開催(9月18日～10月18日)。
- 12月 ● 共催展「熊本市発掘速報展」開催(12月11日～H22.1月24日)。
- 22年 7月 ● 特別展「よみがえる清正」開催(7月17日～8月29日)。
- 9月 ● 企画展「九州の四大カルデラを探る」開催(9月12日～10月11日)。
- 12月 ● 共催展「熊本市遺跡発掘速報展」開催(12月10日～H23.1月23日)。
- 23年 3月 ● プラネタリウム最新鋭機種導入(ドーム 16m、180席)。
- 企画展「宇宙の謎を解き明かす」開催(3月26日～5月8日)。
- 7月 ● 特別展「～サンゴ礁の化石たち～」開催(7月17日～8月28日)。
- 9月 ● 企画展「西海道と肥後国」開催(9月10日～10月16日)。
- 12月 ● 共催展「熊本市遺跡発掘速報展」開催(12月9日～H24.1月22日)。
- 24年 3月 ● リニューアル基本構想・基本計画策定。
- 4月 ● 特別展「熊本博物館開館 60周年記念『肥後の博物学・科学技術—細川重賢の本草学から近代テクノロジーへ—』」開催(4月28日～6月10日)。
- 7月 ● 企画展「恐竜展 2012 in 熊本」開催(7月21日～9月23日)。
-

-
- 12月 ● 共催展「熊本市遺跡発掘速報展 2012」開催(12月7日～H25.1月20日)。
- 10月 ● リニューアル基本設計・実施設計委託(10月16日～H25.3月31日)。
- 25年 7月 ● リニューアル準備のため本館休館。
- 26年 4月 ● プラネタリウム等、一部開館。
- 企画展「のぞいてみよう！身近な草花」開催(4月26日～6月1日)。
- ロビー展「熊本博物館と黒川紀章」開催(4月26日～6月29日)。
- 6月 ● 企画展「南洋への憧れ—熊本博物館収蔵海外資料展—」開催(6月13日～7月13日)。
- 7月 ● ロビー展「藤崎台のクスノキ群」開催(7月1日～9月28日)。
- 企画展「ここがおもしろい！昆虫いろいろ」開催(7月19日～8月31日)。
- 9月 ● 企画展「鳩太郎がゆく！—肥後藩士吉田鳩太郎が見た幕末維新一」開催(9月6日～10月13日)。
- 10月 ● ロビー展「特別史跡熊本城跡」開催(10月1日～12月28日)。
- 企画展「江戸の化粧術—武家婚礼化粧道具を中心に—」開催(10月25日～11月24日)。
- 12月 ● 企画展「稲荷山古墳の出土遺物」開催(12月2日～H27.1月18日)。
- 27年 1月 ● ロビー展「熊本城跡と熊本博物館」開催(1月6日～3月31日)。
- 企画展「博物館のお仕事展」開催(1月24日～2月22日)。
- 2月 ● 企画展「しってるカイ？くまもとの軟体動物化石展」開催(2月28日～4月5日)。
- 3月 ● 企画展「西南戦争古写真展」開催(4月14日～5月24日)。
- 4月 ● 企画展「くまもと自然探検」開催(5月30日～6月30日)。
- 7月 ● リニューアルのため本館休館。
- 28年 4月 ● 平成28年(2016年)熊本地震。リニューアル工事一時休止。
- 11月 ● リニューアル工事再開。
- 29年 7月 ● 建築工事完了。
- 30年 2月 ● 展示工事完了。
- 12月 ● リニューアルオープン(1日)。
- リニューアルオープン記念展「記憶を未来につなぐ博物館」開催(12月1日～H31.4月7日)。
- 31年 4月 ● 企画展「きらめく！大名道具—細川家の「華」と「武」の世界—」開催(4月20日～7月7日)。
- 令和 元年 6月 ● 企画展「自然のおいしい味わい方」開催(6月8日～7月7日)。
- 7月 ● 特別展「世界の昆虫」開催(7月20日～8月25日)。
- 10月 ● 特別展「追憶の熊本—画家・甲斐青萍が描いた熊本城下の記憶—」開催(10月5日～11月24日)。
-

-
- 12月 ● 企画展「生命のれきしー君につながるものがたりー」開催(12月3日～R1.1月26日)。
- 令和 2年 2月 ● 企画展『旅の巨人』と呼ばれた民俗学者・宮本常一ー熊本で見つけたモノー」開催(2月8日～3月28日)。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館に伴い2月28日で終了。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館(2月29日～5月20日)。
- 6月 ● パネル巡回展「深海調査船がみた深海生物」開催(5月21日～6月21日)。
- 7月 ● 夏季ミニ企画展「ひらいて、見よう！いろいろな巻物」・『旅の巨人』と呼ばれた民俗学者・宮本常一ー熊本で見つけたモノー特別編」・「くまはくおうちミュージアムのあゆみ」・パネル展「宇宙の地平線の向こうに～HORIZONを越えて～」開催(7月23日～8月30日)。
- 9月 ● がまだすドーム巡回展「1991 雲仙普賢岳噴火災害を振り返る IN 熊本博物館」開催(9月9日～10月11日)。
- 12月 ● 企画展「ひとのすがた、いのりのかたちー肖像彫刻の世界ー」開催(12月5日～R3.1月24日)。
- 共催展「熊本市 2020 遺跡発掘速報展」開催(12月12日～R3.2月7日)。
- 令和 3年 2月 ● 企画展「博物館でひな祭り!!」開催(2月6日～3月7日)。
- 3月 ● 企画展「震災をふりかえるー大地とモノが語る熊本地震ー」開催(3月20日～5月9日)。
- 7月 ● 特別展「銀河鉄道の夜ーKAGAYA 星空の世界展ー」開催(7月17日～9月5日)。
- 10月 ● 企画展「未来へつなぐ植物の記録ー令和2年7月豪雨で被災した前原勘次郎の植物標本ー」開催(10月2日～11月28日)。
- 12月 ● 共催展「熊本市 2021 遺跡発掘速報展」開催(12月11日～R4.2月20日)。
- 企画展「能楽伝承～熊本の能文化～」開催(12月18日～R4.2月13日)。
- 4年 2月 ● 創立70周年(2月4日)。
- 3月 ● 収蔵品展「くまはくコレクション 肥後のやきもの」開催(3月12日～5月8日)。
- 7月 ● 特別展「世界の大翼竜展」開催(7月16日～9月4日)。
- 10月 ● 企画展「あつまれ！地域の宝ものー熊本市域に残る“文化財”のミリオクー」開催(10月15日～11月20日)。
- 12月 ● 共催展「熊本市 2022 遺跡発掘速報展」開催(12月10日～R5.2月19日)。
- 5年 1月 ● 写真パネル展「くまはく SL100 歳記念ーあの日あのとき思い出の一枚」開催(1月11日～5月14日)。
- 2月 ● 企画展「熊本城と明治維新ー藩から県へ、そのとき城は？ー」開催(2月11日～3月19日)。
- 3月 ● 企画展「立田山ー身近な自然の魅力ー」開催(3月18日～5月14日)。
- 7月 ● 特別展「富田伊織 新世界「透明標本」展 進化が織りなす生命の造形美」開催(7月15日～9月3日)。
-

10月 ● 企画展「清正から受け継いだ名城ー加藤忠広と熊本城ー」開催(10月14日～12月17日)。

6年 2月 ● 共催展「熊本市遺跡発掘速報展 2023」開催(2月3日～5月12日)。

3月 ● 企画展「資料保存の世界ー未来へつなぐ文化財の裏側ー」開催(3月9日～5月12日)

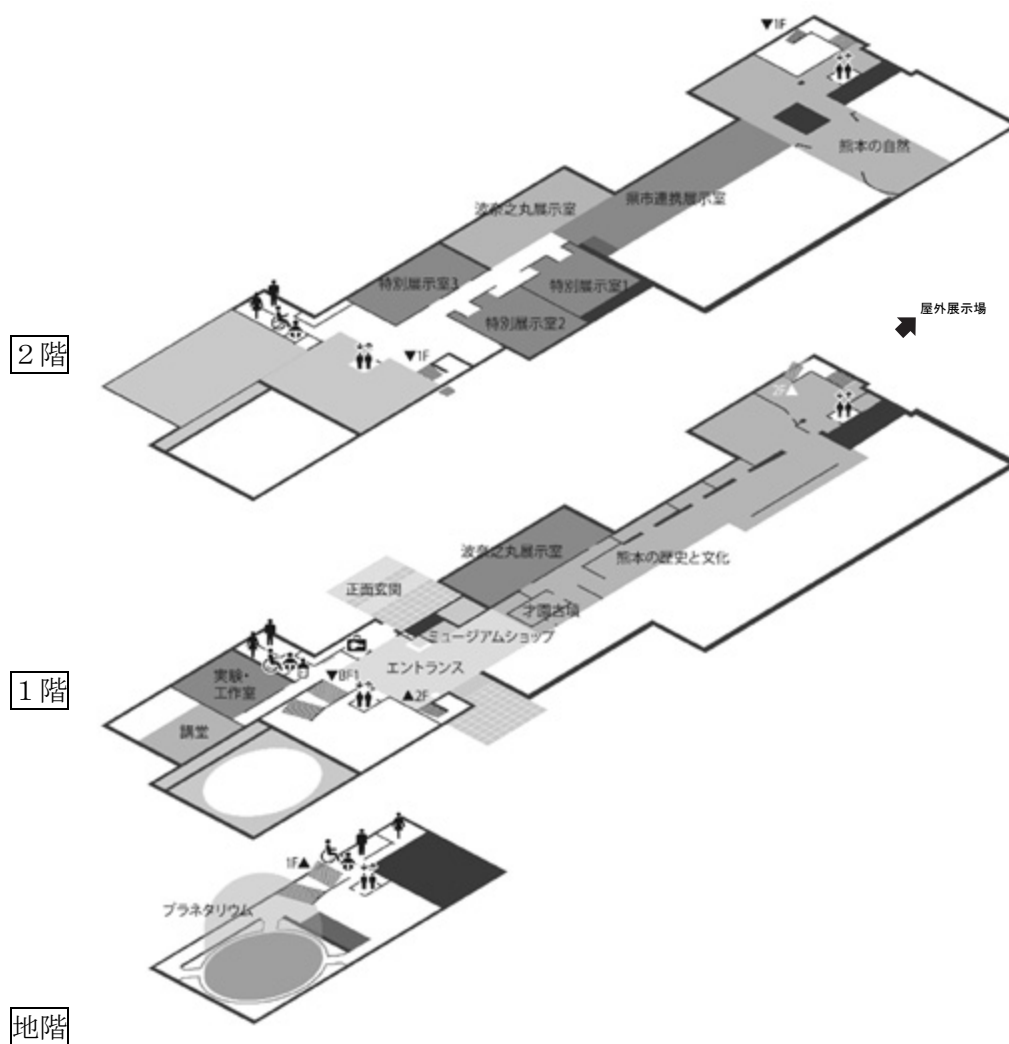
(2) 歴代館長一覧 (敬称略、教育長事務取扱い期間は除く)

館長名	在任期間		備考
初代 佐伯 清太	昭和26年 12月	～ 昭和33年 3月	専任
2代 堀 光之助	〃 33年 3月	～ 〃 38年 4月	社会教育課長兼任
3代 森高 清次	〃 38年 5月	～ 〃 43年 11月	専任
4代 田尻 進	〃 43年 12月	～ 〃 44年 5月	教育次長兼任
5代 上村 健一	〃 44年 6月	～ 〃 54年 12月	専任
6代 矢富 齊	〃 54年 4月	～ 〃 58年 4月	専任
7代 塩見 顯	〃 58年 8月	～ 〃 59年 7月	専任
8代 清本 俊卓	〃 59年 9月	～ 〃 61年 3月	専任
9代 西岡 鐵夫	〃 61年 4月	～ 〃 62年 3月	専任
10代 塘添 亘男	〃 62年 4月	～ 平成4年 12月	専任
11代 村上 貞昭	平成5年 1月	～ 〃 6年 3月	専任
12代 豊田 孝雄	〃 6年 4月	～ 〃 8年 3月	専任
13代 園田 一也	〃 8年 4月	～ 〃 9年 3月	専任
14代 矢毛 隆三	〃 9年 4月	～ 〃 12年 3月	非常勤
15代 東瀬 偉一	〃 12年 4月	～ 〃 15年 3月	非常勤
16代 大橋 康	〃 15年 4月	～ 〃 18年 3月	専任
17代 古場 賢剛	〃 18年 4月	～ 〃 21年 3月	専任
18代 藤森 利一	〃 21年 4月	～ 〃 22年 3月	専任
19代 前野 清隆	〃 22年 4月	～ 〃 25年 3月	専任
20代 原田 哲朗	〃 25年 4月	～ 〃 28年 3月	専任
21代 和田 仁	〃 28年 4月	～ 〃 30年 3月	専任
22代 植木 英貴	〃 30年 4月	～ 令和2年 3月	専任
23代 田端 文一	令和2年 4月	～ 〃 4年 3月	専任
24代 竹原 浩朗	〃 4年 4月	～ 〃 5年 7月	専任
25代 坂本 康祐	〃 5年 8月	～ 〃 6年 3月	専任
26代 的場 弘行	〃 6年 4月	～	専任

(3) 施設概要

所在	熊本県熊本市中央区古京町3番2号
建築面積	3971.75㎡
建造物	鉄筋コンクリート、一部S造（トラックヤード部分のみ） 地下1階地上2階
竣工	昭和52年6月23日
開館	昭和53年4月1日
設計	株式会社 黒川紀章建築都市設計事務所

館内図（平成30年12月1日リニューアル以降）



主要室名・面積（概数）

2階		1階	
常設展示室	500 m ²	エントランス	438 m ²
縣市連携展示室	300 m ²	常設展示室	1000 m ²
特別展示室 1	165 m ²	講堂	78 m ²
特別展示室 2	165 m ²	実験・工作室	97 m ²
特別展示室 3	150 m ²	実験準備室	53 m ²
収蔵庫 4	200 m ²	収蔵展示室	200 m ²
収蔵庫 5	89 m ²	収蔵庫 6	175 m ²
展示資材置場	100 m ²	館長室	24 m ²
荷解室	75 m ²	事務室	78 m ²
処置室	20 m ²	学芸室	107 m ²
トラックヤード	60 m ²	書庫	89 m ²
ロビー	200 m ²	資料閲覧・撮影室	19 m ²
地階		会議室・作業室	26 m ²
ロビー	154 m ²	標本作製室	12 m ²
プラネタリウム	292 m ²	守衛室	11 m ²
天文研究室	20 m ²	制御室	6 m ²
地下標本作製室	17 m ²	介護室	11 m ²
収蔵庫 1	56 m ²	授乳室	4 m ²
収蔵庫 2	214 m ²	屋外展示場	1200 m ²
収蔵庫 3	270 m ²		